

平成 27 年 1 月 30 日

「スタートカリキュラム スタートブック」(教員向けパンフレット)について

国立教育政策研究所教育課程研究センターでは、生活科などを中心としたスタートカリキュラムの取組について、教員向けパンフレット「スタートカリキュラム スタートブック」を初めて作成しました。

今後、本パンフレットを全国の小学校や幼稚園・保育所等、教育委員会等に配布し、スタートカリキュラムの推進・充実を図ります。また、研究所ウェブサイトの中で広く一般にも公開する予定です。

1. 作成の趣旨

幼児期と児童期の教育との接続を円滑に進めることにより、子供は安心して小学校での生活をスタートすることができます。こうした安心は、小学校での生活の支えとなり、いわゆる「小1プロブレム」などの予防や解決にもつながります。このようなことから、小学校入学時に幼児期の教育との接続を意識したスタートカリキュラム（注）を編成・実施する取組が小学校において進められています。

本資料は、小学校において、スタートカリキュラムを編成・実施する際の参考となるよう、スタートカリキュラムの意義やスタートカリキュラムを編成・実施するに当たっての留意点等をまとめたものです。

（注）スタートカリキュラム

小学校へ入学した子供が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム。

2. 主な特徴（内容については別紙参照）

- 理解編・実践編・改善編に分けて留意点等を解説
- 写真やイラスト、図表などを積極的に活用
- 学校全体でスタートカリキュラムを効果的に進めることができているか検証するために「管理職対象チェックポイント」を掲載
- 幼児期や入学前後の子供の活動の様子を紹介した写真集「スタートカリキュラム ミニブック」を付録として添付

3. 今後の予定

- 国立教育政策研究所のウェブサイト (<http://www.nier.go.jp/>) に掲載
- 都道府県及び市区町村教育委員会等に送付（2月中）

（お問合せ先）

国立教育政策研究所教育課程研究センター

研究開発課長 五十嵐祐子 電話：03-6733-6821（直通）

研究開発課指導係 池田森太郎 電話：03-6733-6824（直通）

【スタートカリキュラムスタートブックの内容について】

pp.2-3 なぜ、スタートカリキュラム？

子供の「安心」、「成長」、「自立」という思いに応えるスタートカリキュラムについて解説しています。

pp.4-5 ゼロからのスタートじゃない！

学びの芽生えと自覚的な学びをつなぐスタートカリキュラムの必要性について、幼児教育と小学校教育の特徴を踏まえて解説しています。

pp.6-7 やってみると、こんないいこと！

スタートカリキュラムを編成・実施によって起きる、子供・教職員・学校・保護者にとってのよい影響や教育委員会や幼稚園・保育所等での実際の声について紹介しています。

pp.8-9 スタートカリキュラムを創ろう！

スタートカリキュラム編成についての基本的な考え方や編成の手順、1学期間・週単位の計画について解説しています。

pp.10-11 スタートカリキュラムの特性を生かした単元の構成

合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習「がっこうだいすき なかよしいっぱい」を取り上げ、学校探検における子供の姿や学びを豊かにするポイントについて解説しています。

pp.12-13 安心して学べる環境構成

スタートカリキュラムの実施に当たっては、子供が安心して学べる学習環境を整えることが大切です。その際、配慮する内容について校内を中心に解説しています。

pp.14-15 スタートカリキュラムのマネジメント

校内組織の立ち上げから反省・検証・改善までの流れをPDCAサイクルに合わせて、それぞれ例を挙げながら解説しています。

【スタートカリキュラムミニブックについて】

スタートカリキュラムでは、幼児期からの子供の学びと育ちを豊かにつなぐことが期待されています。そのためには、それぞれの時期の子供の姿を知ることが大切です。

ミニブックでは、幼稚園・保育所等で活動する子供（年長児）、入学前後の子供、スタートカリキュラムを通じて育つ子供など、幼児期から児童期に掛けての子供の姿を紹介しています。